

INFORMATION

第一回 センター利用者懇談会を開催します。

日時／令和1年5月14日（火）13：30～15：00

会場／秋田県南部男女共同参画センター[オープンスペース]

（愛称：南部ハーモニープラザ）

登録団体代表者の皆さまとセンター職員が話し合い、そのご意見をセンター運営に反映させることを目的として開催するものです。たくさんのご参加をお待ちしております。



第一回 地域連携ネットワーク会議を開催します。

日時／令和1年6月19日（水）13：30～15：00

会場／秋田県南部男女共同参画センター[オープンスペース]

（愛称：南部ハーモニープラザ）

秋田県の男女共同参画社会づくり推進のために、市町村、男女共同参画センター、あきたF・F推進員、ハーモニーネット団体など、各個人・団体との連携を図りながら、地域課題の解決に向けて情報交換や共通理解を深め、相互協力を図る目的で開催するものです。

※今年度の「地域サポーター養成講座」は、開催地域のあきたF・F推進員に参画していただく予定です。

6月は、秋田県男女共同参画推進月間です。

自主映画上映会「わたしはマララ」を開催します！

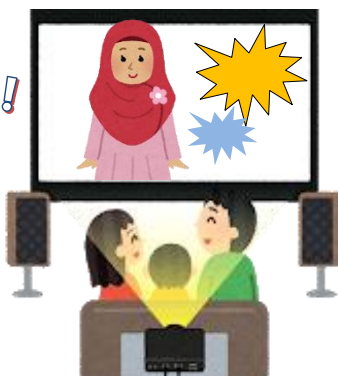
日時／令和1年6月22日（土）上映開始10：00～（88分）

会場／秋田県南部男女共同参画センター [オープンスペース]

電話：0182-33-7018（南部ハーモニープラザ）

■参加費は無料ですが、観覧ご希望の方はお電話でお申込みください。

■会場の都合により限定30名とさせていただきます。



女子にも教育をと訴え 2012年にタリバンに頭部を銃撃されるも奇跡的に一命を取りとめた15歳の少女マララ・ユスフザイ。やがて回復した彼女は暴力に屈することなく再び立ち上がり、女子教育の必要性を訴え世界各地で精力的に活動を続け、2014年には史上最年少でノーベル平和賞を受賞する。本作は、「不都合な真実」のデイヴィス・グッゲンハイム監督がそんな彼女に密着し、様々な活動の様子に加え、彼女の生い立ちや家族との絆、さらには10代のごく普通の女の子と変わらない素顔に迫る人物ドキュメンタリー映画を上映します。

令和元年度の事業計画（詳細は、決定次第お知らせします）

◎学習・研修事業

- 男女共同参画社会づくり基礎講座（年2回）
- 地域サポーター養成講座（年3回）
- 団体グループ等の活動支援事業（年2回）
- 女性チャレンジセミナー支援事業（年2回）
- 男女共同参画推進月間（6月1日～30日）

◎交流事業

- 第18回南部ハーモニープラザまつり（9月）
- ◎男女共同参画センター運営事業
 - 平成31年度利用者懇談会（5月、1月）
- ◎地域連携ネットワーク会議（6月、2月）
- ◎南部男女共同参画センター運営委員会（6月、2月）

編集後記 新緑の五月に、新元号「令和」の時代がスタートしました。「一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができるような日本でありたい」という願いが込められているのだそうです。この春から畑を借りて野菜づくりを始めましたが、何を成すにも土壌（土台）づくりが第一ですね。（ねこじゃらし）

あなたの“いきいき”応援します。



発行 2019年 5月

秋田県南部男女共同参画センター
（愛称：南部ハーモニープラザ）
〒013-0046 秋田県横手市神明町1-9
TEL.0182-33-7018 FAX.0182-33-7038
http://www.akita-south-jender.org/
E-mail sagec-7002@abellia.ocn.ne.jp

秋田県南部男女共同参画センター通信 ★第103号

((ごあいさつ))

秋田県 あきた未来創造部

次世代・女性活躍支援課長 水澤 里利

秋田県あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課長の水澤でございます。

日頃、南部男女共同参画センターを御利用いただき、支えてくださっている地域の皆様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、本県は、過去に経験のない急激な人口減少や高齢化に直面しており、県の活力を維持・向上させていくためには、性別や年齢にかかわらず、県民一人ひとりが、あらゆる分野で活躍できる環境をつくっていくことが重要であると認識しております。

県では、県政運営指針である「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」や「第4次秋田県男女共同参画推進計画」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた取組を進めているところであります。

重点戦略の施策の一つである「女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現」に向けて、あらゆる分野における女性の社会参加と地域活動の促進を図るため、地域において男女共同参画を進める人材や担い手の育成に取り組むほか、女性が職場で生き生きと活躍できるよう、気運の醸成を図るとともに、企業における取組を促進するため、企業における行動計画の策定や女性活躍の取組に対し支援しております。

特に、企業における取組を促進するため、平成30年6月1日に秋田県商工会連合会内に「あきた女性活躍・両立支援センター」を開設し、職場での女性の活躍推進や仕事と育児・家庭との両立支援に関する制度周知等の啓発や相談への対応、専門アドバイザーの派遣など、企業に対する支援をワンストップで行っております。

昨年度は、南部男女共同参画センターを拠点として、地域活動の中心となって活躍できる女性を育成するため、地域で活動する女性と女性団体との意見交換会を開催したほか、意見交換会で出された課題の解決に向けて、双方が連携し取組を実践するなどの事業を実施していただきましたが、その成果としましては、参画された方々のスキルアップはもとより、広く地域における男女共同参画の普及啓発に繋げることができたものと思っています。

そうした成果を踏まえながら、今年度は更に、指定する地域活動（テーマ）に関し、地域で活躍する女性や地域活動の実施団体との意見交換を行うほか、その意見等を踏まえ協働による実践的な活動を実施することとしております。

このように、あらゆる視点から男女共同参画社会を実現するために、皆様とともに取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後も、県の施策に対する御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、男女共同参画センターは、地域における男女共同参画社会の実現に向けた拠点として、各種情報や研修機会の提供とともに、地域活動を実践する人と団体とのネットワーク構築を支援して参りたいと考えておりますので、皆様には引き続きセンターの御利用とともに、運営への御協力をお願いいたします。

（写真は、あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課職員の皆様です）



[令和元年]職員も新体制となりました。今後共よろしくお願ひします。

平成18年度より、指定管理者として当センターの管理・運営に務めて13年が経過し、これまでに沢山の方々からお世話を戴き、数々の事業を展開することが出来ました事に、改めて感謝申し上げます。

令和という新しい時代に、職員も心ひとつに取り組みで参りますので、今後共よろしくお願ひ致します。

センター長 藤原恵美子

「令和も元気にがんばります！」

副センター長 井上博子

二人の子供たちが巣立ち、義理の両親を看取り、今は夫と二人きりの生活となりました。

当初は心にポッカリと穴が開いたように気力がなくなりましたが、今は第二の人生を楽しみたいと思っています。夫は家事・子育て・介護の全てに積極的に関わってくれました。ただそれも始めからそうだったわけではなく、仕事が忙しい夫に、中々子育ての相談が出来なくて悩んだ時期もありました。今は毎晩二人でお酒を飲みながら、日々のニュースで聞く児童虐待やDV、または職場のパワハラや定義について熱くディスカッションしたりと、会話が盛った様です。最近では、家族の健康や都会で一人暮らしをしている子供たちを案じ、夫婦でパワースポット巡りをするようになりました。せつかなので記念に御朱印を集め始め、ダブルでパワーを授かった気持ちになっています。

仕事の方でも、春からステップアップし常勤となりました。今年度も男女共同参画を身近に感じてもらえるような講座を企画し、参加していただいた皆さんともたくさん語らうことが出来れば良いと考えています。センターが“ホッとできる場所”であるよう頑張ってお参りますので、今後ともよろしくお願ひ致します。



「わが家の大黒柱と、家族その他について」

主任コーディネーター 小松田弘

ついこの間まで現役だったので、自分は一家の大黒柱だと思っていました。主人というものは、昔から稼ぎ頭である夫を指して「大黒柱」と言われていたと思います。私の妻は保育士で、出産を機に3人の子育てに専念すべく一旦退職。その後の職場復帰は嘱託職員から再スタートして、数年後に試験をパスして正職員となり、今では我が家の大黒柱となりました。女性が社会復帰することは厳しいものだと、見ていて分かりました。私はと言えば、妻の活躍を支える存在という意味からも”兼業主夫”をしています。

主夫は、朝食と週3回程度の夕食を担当し、スーパーの買い物大好き人間であり、俎板の前に立つのが「板について」いる様で、楽しくてしょうがない。

時々、息子たちも風呂をバックアップしてくれるの助かっていますし、猫2匹も餌のおねだりはいつも主夫の私に…。でも、大黒柱には関心が無いのに、他の柱や壁で爪研ぎをされるので大変です。

忙しい時に「猫の手も借りたい」とは良く言いますが、彼らは今のところ手伝う気もないみたいです。

「令和の時代に願うこと」

コーディネーター 小山留理子

平成が始まった年、ちょうど二十歳でした。1月の成人式典が延期になり、世の中が悲しみで暗い雰囲気だったことを今でも鮮明に覚えています。令和の始まりは5月の新緑の季節もあってか、その時とは違う晴れやかな明るさがあります。

時間の流れのなかで生きていますが、今この一瞬一瞬の積み重ねだと思えば、何ひとつ同じものはないことに気付かされます。自然や生きもの、命あるものはこわれてしまったら元には戻らないものもあるでしょう。この時、この人、このモノ、自然、見えているものすべてが大切に思えてきます。人が自然やほかの生き物と共存して生きる時代、今あるものがかけがえのないものだと思える人びとであってほしい。

今は亡き近所の明治生まれのやさしいお婆さん、何もかもを受入れ悟ったような顔をしていました。自然を壊すことなく生きて来た時代の人です。ただか「60年位の間に随分変わったものだな」と、大正生まれの祖母が良く言っていました。『これから想像もつかない時代がくるでしょう！？』私も昭和生まれのお婆さんになります。「令和の時代は素晴らしい」と思えるお婆さんになりたいです。

「次の時代へ」

コーディネーター 今拓也

ウチの家庭は、夫婦共働きで子どもが2人います。まだ幼子で可愛い盛り。「結婚すると急に男女共同参画に目が向く」なんて言われたりしますが、私はその典型例のようなものでして、帰宅時間がだいぶ早くなりました。

近頃は夫婦共働きの家庭が多く、家事分担がテーマになりますが、ふりかえるとウチは当初からその辺の取り決めが無く、何となくやる事が決まっていた状態だったような。友達の話になりますが、結婚するにあたり家庭内ルールを全部決めたと聞きました。家庭内での役割に形式はなく、その家庭でうまくいってれば、どんなカタチでもOKで。様々なカタチが増えていきます。どんなやり方が飛び出してくるかな？想像できず、ちょっと楽しみです。

当センターの職員となり10年目となりました。最初は「男女共同参画」という言葉をぼんやり聞いたことがあるような無いような…というのが正直な認識でしたが、センターでの様々な活動を通じて「男女共同参画社会の考え方や理解は本当に十人十色」であることを知りました。次の時代では多様性の理解は、ますます重要視されていきます。そのベースは各家庭の考えや思いが大きいものになっていくのだと思います。

「もっと安心・安全の成就を！」

夜間事務補助員 佐々木博紀

少子高齢化が加速度的に進む状況を鑑みると、特に“少子”の部分がとても気になるところです。

生きているからこそ、誰しも老いは必ずやって来ます。首都圏にばかり人が集まる社会を、もっと地方でも仕事が可能な賃金格差のない社会になってもらいたいと願っています。また、自然災害による多くの人命が失われた時代から脱却し、安心して暮らせる社会の成就を願います。



センター登録団体を随時募集しています！

お知り合いの方で、さまざまな市民活動や町内会活動などに頑張っている方がいましたら、センターをご紹介ください。簡単な申込書等の手続きで、研修室利用やコピー機印刷機利用料もお安くご利用いただけます。★ご不明な点など、お気軽にお問い合わせください。

研修室利用料金	男女共同参画社会形成推進のための活動 【登録団体料金】	その他の活動 【一般料金】
午前9時～午後0時	410円	1,130円
午後1時～午後5時	520円	1,550円
午前9時～午後5時	930円	2,680円
午後5時以降1時間	100円	310円

●センターを利用するには・・・

オープンスペース、情報交流室

予約なしでもご利用いただけます。会議や活動日が決まっているときは事前予約もできます。

研修室

事前の申請が必要です。お電話でお問い合わせください。☎0182-32-7018

2019年度 男女共同参画週間キャッチフレーズが決定しました！

男女共同参「学」・知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる

内閣府では、「学び」を通じて、男性も女性も、ひとりひとりが、多様なライフキャリアの形成と選択ができる社会の実現に向けたキャッチフレーズを募集し、応募総数1,900点の中から、審査の結果、以下の4作品を選びました。〔募集期間：1月10日～2月28日〕

- ・最優秀作品「男女共同参画「学」」 浜口直樹さん（神奈川県）
- ・最優秀作品「知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる」 梶浦公靖さん（東京都）
- ・優秀作品 「夢を、性別なんかには、壊させない」 長井謙さん（沖縄県）
- ・優秀作品 「男らしさ、女らしさはいらぬ。さあ、あなたらしく学ぼう。」 杉山大地さん（神奈川県）

※男女共同参画週間、キャッチフレーズの詳細は以下のサイトをご覧ください
<http://www.gender.go.jp/public/week/index.html>